



自主創造プログラムをご活用ください

「ちょっとした教室やイベントを村で開きたいけど、講師の方の謝礼を払ったり、宣伝したりするのが個人だと大変・・・」そんな場合は、公民館の自主創造プログラムを活用してみませんか？

村民の皆さんの多様な学習ニーズに対応するための事業です。興味を持った方はお気軽にご相談ください。

- 1 事業の内容 村民を対象として企画された公民館事業
- 2 申込条件 占冠村民又は村内職場勤務者
- 3 参加対象 占冠村民（村外の住民の参加も可）
- 4 支援内容
 - ・新聞折込み等の住民への周知
 - ・参加申込の受付
 - ・予算の範囲内での講師謝金等の一部もしくは全部を負担
 - ・事業計画やテキスト作成などの相談
 - ※会場等の手配や講師との交渉、周知チラシの作成等は申込者に行っていただきます。
- 5 その他 詳しい内容や条件については、公民館事務局（教育委員会社会教育担当）にお問合せください。



世話焼き隊募集中

学校支援ボランティアである世話焼き隊を募集しています。

世話焼き隊は、みなさんの今まで培ってきた経験や知恵、特技や趣味といった様々なことを地域の子どものたちのために活かしていただくボランティアです。

時間のある時に、無理なく、できることをして、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

（申し込み時に、自分ができると、得意なことを登録していただくので、苦手なことをさせられる心配はありません）

＜主な活動＞

放課後の見守り・栽培活動・絵本読み聞かせ・スポーツ指導など

申し込み・お問合せ：占冠村教育委員会社会教育担当

TEL：0167-56-2183



公民館 ヨガ講座のお知らせ

富良野市から講師の先生をお呼びして、ヨガ講座を開催します。ヨガは日頃の運動不足解消や、心身のリラックス効果が期待できます。今年度は4月以降も月1回のペースで開催していきます。全部に出る必要はありません。興味がある方は自分が参加できる日に是非ご参加ください。

日 時：平成31年4月17日（水） 10時30分から11時30分まで

場 所：占冠村保健福祉センター「ノンノ」

参加費：毎回700円（当日お支払下さい）

持ち物：ヨガマット（なければバスタオル）、飲み物

※動きやすい服装でお越しください。

申込み：占冠村公民館（56-2183）までご連絡ください。

※9時45分にトナム支所前発のバスが出ます。

4月以降の開催日は5月12日（日）、6月19日（水）、7月13日（土）の予定です。各開催日が近づいたり、日程に変更がある場合は行政区回覧等で周知します。

【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。

■お問い合わせ

林業振興室

電話 56-2174

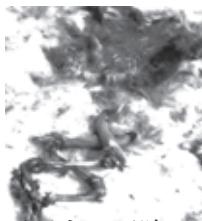
エゾシカ

2月以降に融雪が進み、3月中旬現在、例年になく雪が少ない春を迎えようとしています。地表のエサの獲得、移動による体力消耗の両面で、雪の少なさはシカの生存に有利に作用しているのではないのでしょうか。

毎春、林道や川沿いでシカの死骸が見られます。鳥や獣に食べられて、きれいに剥いだように骨と皮になりますが、骨髄脂肪の観察で栄養状態を推定でき、餓死したものか分かります。今春はまだ、担当者は餓死死骸を見ておらず、餓死が少ないのかもしれませんが。ご覧になった方はいますでしょうか。



親とはぐれた子シカ
H31.3 双珠別



子シカの死骸
H28.3 中トマム

ヒグマ

3月初めから、ちらほらとヒグマの活動が見られています。雪は少ないですが、特に穴の出が早い感じもありません。昨年は4月末から5月にかけて若い人馴れグマがよく出ていたので、今年も序盤から警戒を強めております。情報収集にご協力をお願いいたします。

今年度版の「しむかっぷカレンダー」では、通年でヒグマコーナー



単独の若いヒグマ
H31.3 ニニウ
(村民提供)

を設け、豆知識をお届けします。情報量が限られるので、随時、本記事でも補足いたします。本カレンダーの4～5月の頁では、村内のヒグマ生息数に触れています。粗い試算ながら、年間に別個体と分かるものが50ほど数えられていることから（広報2月号参照）、村内のヒグマの生息数が概ね100～150頭程度という説明は、実態と大きく外れていない数字かと思えます。

3月3日に開催された「占冠村ヒグマミーティング」では、村も担当者を派遣して、皆様と有意義なやりとりをさせていただきました。お礼申し上げます。本紙「村のできごと」欄でもご紹介しています。

◆占冠村猟区について◆

2月中旬以降、3月上旬現在までガイド付きシカ猟は3件、捕獲は3頭でした。事故、違反等の発生はありません。猟区の猟期は4月15日までです。

▲その他▲

野生鳥獣の捕獲活動における安全、安心を推進する取り組みとして、「捕獲技術安全講習会」を2月17日に開催しました。農家、住民、ハンター、役場担当者、森林管理者等20名が集い、昨年11月の恵庭市内における事故も教訓に、地域事情に即した安全管理について話し合いました。結果はホームページ（下記）に掲載しています。



<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000003ifde.html>

こちら駐在所です

占冠駐在所 TEL 56-2110

飛び出さない いったんとまって みぎひだり

新入学・新入園期における交通事故の防止

①運転者のみなさんへ

真新しいランドセルを背負ったり、通園かばんを肩にかけた子どもの姿が目につく季節になりました。子どもたちを見かけたら、必ずアクセルをゆるめ、学校や公園の近くを通る時は、特に慎重な運転を心がけましょう。

②保護者のみなさんへ

交通ルールは、事故を起こしたり、被害にあわないための大切な決まりです。お父さんやお母さんが、日常生活の中でお手本を示しながらしっかり教えてあげましょう。

保護者の方は、お子さんと通学・通園路を一緒に歩いて、危険な場所や車の危険な動きについてわかりやすく教えてあげて、安全な行動がとれるように指導しましょう。

信号が青色になっても、車が止まるのを確認してから渡るということや、止まっている車の前や後ろから道路を渡らないということ、道路では絶対に遊ばないということをご指導ください。